

第 5 回 定 期 研 究 会

平成 26 年度 第 5 回 SGST 定期研究会議事録

日時：平成 27 年 2 月 20 日 16:00～17:30

場所：名城大学 天白校舎 研究実験棟Ⅱ 多目的室

出席者：青嶋(中部復建), 安藤(一), 泉野(玉野 C), 伊藤, 北根, 舘石, 廣畑(名大), 入山, 加藤(中日本 C), 上田, 日下部, 櫻井, 所, 松村(瀧上), 内山, 野末(パルステック), 小塩, 久保, 渡辺, 加藤, 篠原, 袁(名城大), 山田, 加藤, 小塚, 米村(中日本ハイウェイエンジニア), 川瀬(日中 C), 川西(豊田高専), 木下(岐阜大), 桜木, 清水, 山田, 長瀬, 三輪(日車), 杉山(日本ピーエス), 園部(JIP), 田中(中部地整), 陳(サンワ), 土橋, 井上(横河), 長谷川(セントラル C), 原田(復建エンジニア), 村瀬(愛知), 西(日本橋梁)

以上, 44 名(敬称略)

1. 定期研究会(16:00～17:30)

講演者：中部地整 道路部 道路情報管理官 水谷 和彦

講演項目：【道路構造物をめぐる今日的課題と今後の方針】

講演内容

講演：【道路構造物をめぐる今日的課題と今後の方針】

日本の道路橋約 70 万橋のうち, 約 50 万橋が市町村道である。定期研究会ではこれら市町村が管理する橋梁に対し, 急速に高齢化を迎える橋梁の実態と課題, また, その対策の必要性和, 中部地整が地方公共団体への支援内容, 取り組みについてご説明頂いた。近年, 新設橋梁の長寿命化が謳われている中で, 聴講者の関心も高く, 非常に活発な質疑が行われた。